

# ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽信息

沼津・岳陽友好都市提携 30 周年!! を記念して、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介するコーナーです。

平成 26 年度岳陽市教育研修生として3ヵ月間沼津市を訪問し、岳陽市外国語学校で日本語教師をしている張 攀(ちょう はん)です。第三回の今回は、岳陽市の観光スポットをご紹介します！



今年、友好都市提携 30 周年を記念して、沼津市からの訪問団が岳陽市を訪れる予定だと聞きました。懐かしい沼津のみなさんに再会できるのを、今から楽しみにしています！

今回は、沼津の皆さんがより岳陽を堪能できるよう、市内の有名観光スポットを紹介します！

## ～ 李白・杜甫・範仲淹も詩に詠んだ 岳陽楼 ～

岳陽市と言えば岳陽楼！岳陽市のシンボルとして洞庭湖畔に佇む岳陽楼は、古来より、「黄鶴楼」(湖北省武漢市)、「滕王閣」(江西省南昌市)と合わせて「中国江南の三大名楼」と称されています。

当初は城門を守る衛兵の休憩と遠方を監視するための鼓楼として建設されたそうで、三国時代の東呉の大將魯肅が水兵を訓練するために閱軍楼としました。宋代巴陵(岳陽の旧称)の郡太守に就任した滕子京は岳陽楼を再建し、科挙の同期であり親友であった有名な文学者の範仲淹に撰文を頼み、書かれたのが名文として広まった『岳陽楼記』でした。岳陽楼の高名が人々の知るところとなったのは、この名文によるところが大きいようです。

『岳陽楼記』には、「天下の憂えに先んじて憂え、天下の楽しみに後れて楽しむ」という一文があり、これは“水戸黄門”が名づけたという東京小石川の“後樂園”の由来ともなり、日本でも“先憂後楽”として有名です。

岳陽楼は特色のある建築で、高さは 21.35 メートル、3 階建てで、建築に際しては一つの鉄釘も使用せず、4 本の楠の柱と、12 本の梓の檐柱で飛檐を支えています。屋根が將軍の兜の形を模している点も興味深い点ですので、是非注目してみてください。

また、岳陽楼内の展示品も特別で、各階に歴代名家が撰じた対句があり、18 世紀の有名な書家張照の木彫り屏風や、毛沢東が書いた杜甫の詩『登岳陽楼』が木彫り屏風となり飾られています。

1988 年、岳陽楼は「全国重点文物保护单位」、「国家重点風景名勝区」に指定され、2000 年には最初の「国家 AAAA 級旅行区」として認定されました。



～ 岳陽に寄り添う中国第二の淡水湖 洞庭湖 と 洞庭湖に浮ぶ <sup>くんざんとう</sup>君山島 ～

洞庭湖は中国で2番目の大きさを誇る淡水湖で、日本の一番大きな琵琶湖の4倍の大きさです。日本の方には一見、海かと思間違う大きさかもしれませんね。

洞庭湖全体は5つの部分に分けられ、東洞庭湖、南洞庭湖、西洞庭湖、北洞庭湖、大通湖と呼ばれていますが、中でも東洞庭湖の面積が一番大きく、君山という小さな島が浮かんでいます。

東洞庭湖は国連の“国際湿地公約”に指定された重要な湿地の一つで、「国家級自然保護区」でもあります。毎年、コウノトリ、白鶴、シラサギなど217種類の国家級保護渡り鳥が越冬のためここに集まってきます。東洞庭湖を遊覧すれば、多種にわたる魚類が観賞でき、新鮮な魚に舌鼓を打ち、興味深い漁の物語も聞くことができるので、きっと皆さんを満足させてくれるでしょう！

君山島は岳陽楼から15キロの距離にあり、お互い向き合っています。島内には多くの名所がありますが、中でも有名なのが、「柳毅井」と「二妃の墓」です。この二つは伝説に基づく名所で、その伝説が愛の物語であることから、君山島は「愛情の島」「東方のエデンの園」とも呼ばれています。そういわれれば、島の形もなんだかハートみたいだと思いませんか？

また、島内には約7000年前の遺跡や、約7300年前の新石器時代に掘られた星雲図なども見られ、君山島が古くから人々にとって重要な場所だったことがうかがえます。

そして忘れてならないのは、君山島が「銀針茶」の生産地だということです。「銀針茶」は針のような細い茶葉が特徴の君山島が唯一の生産地である高級茶で、爽やかな色味と味で愛されています。ガラスのコップで淹れると茶葉が“踊る”姿が見られておすすめです！



「柳毅井」の由来『柳毅伝書』

唐代に柳毅という人がいました。柳毅は科挙に失敗し長安から出身地の湖北省に帰郷する際、ある娘に出逢い手紙を預かりました。娘は、自分は洞庭湖の竜王の娘で、夫に虐待を受けていて、自分の苦境を父である竜王へ訴えたいが、洞庭湖は遠く途方に暮れていたところだったと言いました。その話を聞いた柳毅は娘から手紙を受けとり、長い道のりを急ぎ洞庭湖の竜王に手紙を渡しました。

柳毅のお蔭で娘は助かり洞庭湖に戻ったのですが、恩義を感じた竜王から娘を嫁にしてほしいと言われた柳毅はそれを良しとせず、洞庭湖を離れます。その後妻を娶るも死別した柳毅は、ある時竜王の娘に似た美しい女性と出会い、結婚し子供も生まれました。子が生まれてしばらくすると、妻は、実は自分はその時の竜王の娘であなを慕って追いかけてきたと柳毅に告げました。竜王の娘を忘れられずにいた柳毅もその話を聞いて喜び、一家はその後も幸せに暮らしたということです。



## ～ みどころいっぱい その他の岳陽市名所 ～

**聖安寺** せいあんじ 710年に創立され、岳陽市南郊の洞庭湖に臨む大亀山頂上に位置し、山門、天王殿、大雄宝殿、念仏堂、観音殿、万仏塔などからなっています。岳陽で一番大きいお寺です。お寺に入ると、念仏を唱える声や白檀の香が溢れ、心が落ち着きます。仏教の聖地として、毎月1日と15日は参拝する人で賑わいます。



**金鵝公園** きんがく 金鵝山を中心に形成された大きな公園で、市の中心に位置しています。公園は森林に覆われており、市民の憩いの場として賑わっているほか、沼津市との友好都市提携10周年を記念して造られた中日友好園（桜花園）もあり、大きな記念碑も建っています。



**張谷英村** ちやうこくえいむら 明朝初年に張谷英という人が居を構えて以来その子孫が600年余りに渡って住み続けた村で、現在は600戸2700人余りの“張さん”が住んでいます。その住居は1キロ余りに渡って繋がっていて、“雨の日も靴が濡れない”と言われています。ちなみに、私の苗字も“張”ですが、残念ながらこの張谷英村の出身ではありません。



**連雲山** れんうんざん 連雲山峡谷では何と言っても川下りが有名です。湘北第一高峰の連雲山の溪谷では、曲がりくねった川の流が急で、険しい崖の人里離れた峡谷は静かで別世界にいるようです。アドベンチャー映画を実体験するかのような激しい川下りのコースは、全行程約2時間。きっと皆さんの冒険心を掻き立ててくれるはずです！



**屈子祠** くつし 『岳陽信息』第二回でも紹介した、端午節発祥地汨羅 へきらにある屈原を祀った廟。屈原の像などもあります。

## ～ 歴史の街 岳陽の おまつり ～

**長楽街故事会** ちやうらくがいこしかい 汨羅の長楽鎮に民俗芸能として残る高蹺故事会 ガオチャオグウシフイ（高足踊りの物語集会）は、元宵節に長楽鎮の人々が高足踊りを行いながら街を練り歩くお祭りです。この故事会は古代の戯曲を題材にした濃厚な特色を残したもので、龍船競争大会開会式などでも披露される岳陽の特色ある伝統芸能の一つです。



**龍船競争大会** 『岳陽信息』第二回で紹介した端午節イベント。

## ～ お知らせ ～

『友好都市岳陽信息』の第一回目でご紹介した“岳陽市外事僑務弁公室”は、岳陽市の組織改革に伴い“岳陽市旅遊外事僑務弁公室”に名称変更し、今後は観光業務もあわせて担当することになりましたので、お知らせします。なお、弁公室の責任者は任焱輝主任が引き続き担当します。

次回は、10月掲載予定！

岳陽市外国語学校日本語教師の周汝君（しゅうげんくん）さん（H24年度教育研修生）に、中国・岳陽の結婚事情をご紹介いただく予定です。皆さんお楽しみに！！